

平成30年 9月27日

平成30年度まち・ひと・しごと・  
ふるさと養父市創生総合戦略の評価について

養父市長 広瀬 栄

平成30年度まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略の評価については、平成30年9月7日付で報告のあったまち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略検証委員会の検証結果報告を踏まえて以下のとおりとします。

平成29年度末の人口は24,044人（住民基本台帳ベース）で、昨年度と比較して508人の減となり人口減少が進んでいます。戦略の策定から3年が経過し、各施策の進捗は着実に進んでいるものの、人口減少の抑制に至っていません。各事業の検証と改善を行うとともに、戦略期間が終了した後の新たな展開を見据え、人口減少に対し効果的な取組を強化していきます。そして持続可能なまちづくりに向けて、市民を始め関係者の皆様とともに取り組んでいきます。

基本目標ごとの評価は次のとおりです。

○基本目標1（“住みたいまち”に）

人口の社会減が223人（H28：222人）と、昨年度と比較し1人減少し目標を下回っています。Iターン者、Uターン者それぞれの移住者に応じた多様な働きかけを行い、高校生等市内在住者への養父市の魅力のPRを強化するとともに、移住者の受入環境の整備を進めていきます。

○基本目標2（“チャレンジできるまち”に）

雇用創出数は46人、新たな起業・創業件数は6件と、昨年度と比較して減少しています。今後は国家戦略特区の成果の普及を図りつつ、関係機関と連携しながら支援策が活用されるよう情報の共有と発信の強化と積極的な支援を推進していきます。

○基本目標3（“子育てしたいまち”に）

出生数は160人で単年度の目標は達成しています。今後は、事業と事業を繋ぎながら、それぞれの子育て環境に応じて適切なケアが提供できるよう事業の整理と環境を整備していきます。

○基本目標4（“健康長寿のまち”に）

介護を必要としない人の年齢が83.40歳で昨年度から0.08歳上がりました。今後は、多様化している生活に応じ、住民自ら取り組める健康づくりを関係機関とも協力しながら充実を図っていきます。

参考資料)

- ◇まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略について（検証結果）
- ◇まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート
- ◇まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合 今後の方向性一覧